



竹田市荻町にある「Haru+ (ハルタス)」は、令和5年4月に空き家を改修して開設された、近隣地域の方々や小学校、保育園、病院、社会福祉協議会の関係者など、様々な方々と連携しながらデイサービスやこども食堂等の事業を実施されている多機能地域交流拠点です。

当日は、デイサービスを利用している高齢者や県外からの移住者でボランティアとして活動されている親子にもご参加いただきました。皆で話し合って料理を作ったり、野菜を作ったりと、性別や年齢、障がいの有無等を超え、家庭の延長のような施設として楽しく利用されている様子などをお聞きました。地域で一人暮らしをされているご高齢の利用者が、地域で20数年ぶりに生まれたという小さなお子さんを孫のように慈しんでいる姿が大変印象的でした。

また、施設の方からは、多機能地域交流拠点を開設、運営するにあたっての費用や人員確保についての課題など、多くのご意見、ご提言をいただきました。

制度上の問題で困難なこともあると思いますが、皆さんの取組が後戻りしないように制度を整えていくのが行政の役割であり、世の中を少しずつでも変えていかなければならないとお話しました。



関連する県の施策

☆事業名：人権施策推進事業

事業概要：社会の多様化・国際化の進展など情勢の変化による多くの人権問題を解決し、人権尊重社会の確立を目指すため、パートナーシップ宣誓制度を県域で導入するなど人権尊重条例に基づく施策を総合的に推進

【特】 性的少数者の相談窓口の受付時間拡大など

予算額：1,481万円

※【特】 は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おいた創造挑戦専業」

〈大分県パートナーシップ宣誓制度〉

大分県では、誰もが自分の性的指向やジェンダーアイデンティティを尊重され、自分らしく生きることのできる社会の実現を目指し、その取組の一つとして、「大分県パートナーシップ宣誓制度」を令和6年4月1日から開始しました。

この制度は、性的マイノリティのパートナーシップ関係にある方々が、人生のパートナーと安心して暮らすことができるよう、県として応援するもので、受領証を提示することにより、公営住宅への入居、公立病院での手術同意等の行政サービスが利用できるようになります。